

平成7年（1995年）阪神・淡路大震災

阪神・淡路大震災と六甲山

西宮市塩瀬町生瀬

⑥

- **被害状況** 崩壊面積約0.9ha（標高170～290m、平均傾斜角32度）
- **地形・地質** 有馬・高槻構造線の影響から六甲花崗岩の風化が著しい。また、奇岩の名勝・蓬萊峯も近い。
- **事業目的** 不安定土砂の移動防止と斜面の安定を図るため、法切工、土留め工、法枠工を設置、さらに緑化工も施工し森林の機能の回復を図りました。



災害直後



工事施工中



令和元年（2019年）7月10日現在



災害直後



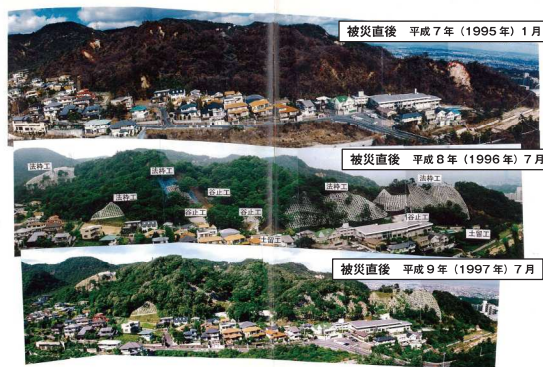
工事完成直後 平成9年（1997年）

阪神・淡路大震災と六甲山

宝塚市小林字西山（ゆずり葉台）

⑦

- **被害状況** 宝塚市逆瀬川上流のゆずり葉台住宅（約50戸）、県立宝塚西高校の裏山稜線部に亀裂および斜面崩壊が発生しました。降雨や余震による二次災害の発生に対する対応を迫られました。（標高200m～350m、崩壊地の平均勾配は40度）
- **地形・地質** 地質は六甲花崗岩である。多くの板状節理が発達しており、風化岩が細片状に砕け、土砂と化していました。
- **事業目的** 不安定土砂の移動防止のダム工、斜面の安定を図る法枠工と落石防止工を施工しました。また、森林による防災機能の回復と環境の保全を図るため緑化工を施工しました。



被災直後 平成7年（1995年）1月

被災直後 平成8年（1996年）7月

被災直後 平成9年（1997年）7月



令和元年（2019年）7月30日現在

阪神・淡路大震災と六甲山

宝塚市小林字西山（ゆずり葉台）

⑦

被災状況写真

各地でクラック・崩壊が確認された。



山腹崩壊により、落石が発生した。

